

## 第3回セイカ子ども大学 「箱をつくろう！」実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム  
<精華町・京都精華大学・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク (K-Scan) >
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2019年8月24日（土曜日） 午後1時30分～4時30分
- 【開催場所】 SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 【内容】 木の板を使って「面」を作り、「箱」を作る。形は自由。  
できた箱は自分だけのオリジナル作品。物入れや飾り台、明かりを入れて照明にもなり、木の持つ自然の表情を楽しんだり、紙を貼って工夫できます。小さい人を置くと建物にも見えます。
- 【講師】 京都精華大学デザイン学部建築学科 葉山勉 教授
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学3～6年生の子どもとその保護者
- 【参加者】 20組
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町公立小学校（3～6年生）  
チラシ配架：精華町役場・図書館・アピタ精華町コーナー  
精華町ホームページ
- 【参加者感想】 ・子どもだけでなく、大人も夢中になれた。  
・学生のサポートがあってよかった。  
・学校では決まった課題があるが、子どもの自由裁量で作れて、楽しかった。テープやボンドが使えたのも良かった。  
・オリジナルの作品が作れた。  
・光を使うことでより美しくなった。  
・教育とは違うところで、デザイン・アートと触れることができた。  
・もっとプロのアドバイスがもらえるとなお良かった。  
・時間配分がわかりにくかったのでタイムスケジュールが欲しかった。

【会場風景】

<「科学のまちの子どもたち」プロジェクト>

